

新型コロナワクチン接種についてのお知らせ その1

新型コロナウイルスワクチンについてのQ&A

○新型コロナワクチン全般について

Q1 新型コロナワクチンにはどのような効果がありますか？

A1 新型コロナウイルスに感染した場合に、発症や重症化を防ぐ効果があります。ちなみに、ファイザー製ワクチンの発症予防効果は約95%と報告されています。

Q2 本人の同意なく、接種をされることはありますか？

A2 ワクチン接種は、受ける方の同意なく、接種が行われることはありません。ワクチンの効果と副反応について理解したうえで、自らの意思で接種するかどうかを決めることができます。※「接種券」に同封されているワクチンの説明用紙をよく読み、接種するか判断してください。

Q3 どこで接種することができますか？

A3 接種場所は、「様似町保健福祉センター」にて集団接種。「三和医院」にて個別接種を予定しています。

Q4 新型コロナワクチンは何回接種する必要がありますか？

A4 ファイザー製のワクチンでは、一人2回接種を行います。通常、1回目の接種から3週間後に2回目の接種を行います。

○接種対象者について

Q1 持病があり、薬飲んでいる人は新型コロナワクチンを接種することはできますか？

A1 薬を飲んでいるために、接種できないということはありませんが、基礎疾患のある方、免疫不全のある方、病状が重い方など、慎重に判断した方がよい場合もありますので、かかりつけ医に相談し、接種するかどうかを決めてください。

Q2 新型コロナワクチンを接種する場合、注意が必要なのはどのような人ですか？

A2 以下の方、注意が必要です。ご自身が当てはまると思われる場合は、接種してもよいかかかりつけ医にご相談ください。

- ・過去に免疫不全の診断を受けた方、近親者に先天性免疫不全症の方がいる方
- ・心臓、腎臓、肝臓、血液疾患や発育障害などの基礎疾患がある方
- ・過去に予防接種を受けて、接種後2日以内に発熱や全身性の発疹などのアレルギーが疑われる症状が出た方
- ・過去にけいれんを起こしたことがある方
- ・ワクチンの成分に対してアレルギーが起こる恐れがある方
- ・抗凝固療法を受けている方、または血小板減少症または凝固障害のある方

○副反応等について

Q1 新型コロナワクチン接種のリスクや副反応はどのようなものがありますか？

A1 副反応として、発熱、頭痛、疲労感、筋肉痛、寒気、関節痛などは比較的起こりやすい症状です。副反応は数日以内に納まるものが大半ですが、極めてまれに治療が必要になるほどの副反応として、アナフィラキシーがあります。